

上海インターネット事情

岡山県上海事務所 小林和暁

(日中経済貿易センター上海事務所 所員)

無料 WiFi 通信の実情

仕事や個人の生活において、インターネット回線はいまや重要なインフラです。上海はインフラ整備の量の面では既に世界一流に達していますが、質の面ではまだまだ発展途上にあります。

上海市では現在、フリーWiFi網「i-Shanghai」を整備中で、本年10月までに市内450か所の公共の場所や人の集まる場所で、無料WiFi回線が使えるようになります。また、市内のホテルや喫茶店、飲食店の多くで無料WiFiサービスが提供されており、多くの場所でインターネットにアクセスできるようになりました。

一見、日本よりもはるかに先を進むインターネット網の整備状況ですが、実際の通信はいつでもどこでも快適に使用できるまでにはいたっていません。スマートフォンやタブレット端末など、上海では今や1人1台以上ともいえるほど端末が普及しており、多くの人々が暇さえあればインターネットにアクセスし、ウェブや動画を閲覧しています。一般に開放されているWiFi網にはアクセスが集中し、大量のデータ通信が行われています。その結果、WiFiには接続できても、実際は速度が遅い、通信できないこともあります。

中国のインターネット通信速度

インターネットの通信事情が悪いのはフリーWiFiだけではありません。企業や個人向けの光

ファイバー固定回線でも、混雑が激しくなっています。インターネット企業の深セン市迅雷ネットワーク技術有限公司の調査によると、2013年の第一四半期における中国のインターネット通信速度ランキングで、上海市は15位に沈みました。上位に立ったのは、湖北省襄陽市、内モンゴル自治区オルドス市、吉林省吉林市などの地方都市で、北京、広州、深センなどの大都市はランク入りさえ逃しました。

上位50位の平均ダウンロード速度は998KB/s(8Mbpsに相当)で、全国平均は646KB/sでした。2012年第三四半期にアカマイ・テクノロジーズが行った調査では、日本の平均最大通信速度が42.2Mbpsであるのに対し中国は7.1Mbpsでしたが、それでも前年の調査から約21%速度がアップしていました。

日本と異なる事情

通信する時間帯により速度に大きな差異が見られる場合もあります。上海のある企業では特に金曜日の夕方に大幅な速度低下が起きており、大容量ファイルなどの送信は時間を選んで行っています。家庭向けでも19時~24時頃の通信速度は相当低下します。

上海では他社の回線を借り再販売する回線リセール業者も多数あり、業者によっては回線速度よりも収益性を重視した結果、速度が基準に達しない例が見られます。また、政府部門のインターネット管理に起因すると思われるメールの不着や一部サイトへの一時的なアクセス不良などもしばしば見られます。

光回線容量の拡大計画

このような状況を改善するため、上海電信では本年 3 月 1 日に「第五次インテリジェンスシティ・ブロードバンドスピードアップ」計画を起動、これまでの 5 回にわたる改善で光回線容量を 680 万回線まで拡大、計画よりも 1 年前倒しで上海市都市部の大部分をカバーしました。現在、上海市での同社の光回線は 260 万回線に達し、平均通信速度を 16Mbps まで引き上げることに成功しました。

変化の大きい中国、数年後には上海の通信速度はより世界レベルに近づいていることでしょう。

(2013 年 4 月)